

上高地サマーテント雑人雑記

2007 年～2011 年



昭和44年夏のサマーテント

信州大学学士山岳会サマーテント委員会

目次

			頁
1	巻頭言その1	サマーテントへの思い	駒井 浩
	その2	サマーテントへの思い	宇都宮昭義
2	グラビア		3
3	サマーテント	雑人雑感 2007年	5
4	サマーテント	雑人雑感 2008年	11
5	サマーテント	雑人雑感 2009年	15
6	サマーテント	雑人雑感 2010年	20
7	サマーテント	雑人雑感 2011年	26
8	上高地小梨平サマーテント	報告2より	松尾武久
9	あとがき		松尾武久
			33

巻頭言

1. 巻頭言

その1. サマーテントへの思い

昭和37年入部 駒井 浩

「信大サマテン」それは、私にとって別荘のような存在です。

現役の頃から、そういう感覚であり、今でもその通りです。

私が学生時代に、サマテンにお世話になった(ここでお世話を焼いていた?)のは、記録によると、78日でした。

ギターを持ちあげ、ほう歯の高下駄で小梨平を走り回っていました。

その時の感想の一節に「1度で良いから開店から閉店までサマーテントにいたい」というのがあります。

去年、数十年ぶりに、その希望を果たすことができました。

なぜそんなに惹かれるのか？

キーパーとして入村していたころの記録に、宿泊者が皆感謝して喜んでくれ、「もう1日伸ばしたい」とか「来年もきつと来たい」など言ってくれるので、やりがいがあり、素敵だったとあります。

サマテンがあれば、OBとの再会や昔の宿泊者の訪問、現役からOBとの縦のつながり等が広がっていきます。

昔は、他の大学や地元の高校等のサマーテントがたくさんあり、夏山や上高地散策のベースになっていました。

今は、その数も減り、信大だけと言っていいくらいになったようです。

それだからこそ、余計、大事にしたいと感じています。

さあ、今年も上高地でのんびりと、ハーモニカでも吹こう。

その2. サマテンへの想い

昭和38年入部 宇都宮 昭義

私のサマテンとの付き合いは、山岳部に入り新人合宿から下山して少し部の雰囲気にも慣れて来た6月上旬全国の（と云っても限定された）高校・大学へ送るサマテンポスター宛名書きから始まった。夏休みに入ると大学本部のトラックに目一杯の薪を積んで出発、小梨平テントサイトに横付け荷卸しの後、西糸屋の倉庫からテントやスノコ、ストーブや鍋釜・食器などの生活用品を担いで河童橋を渡り運搬、50人以上が泊まれる巨大なドーム天設営などなど部員十数名が早朝から夕方まで一日掛りで行いました。

お客のある時は、新人が炊く不味い飯は客に食べさせられないからと釜には触れさせて貰えずに、竈の煙に涙を流してひたすら団扇を煽いで水加減・火加減を目で盗むだけで、エッセン当番は2年部員でした、また毛布1枚で過ごす上高地の夜は女子高生や短大生には寒すぎると夜通しダルマストーブの薪番をする3年部員、連日の寝不足にも係らず地下足袋やズックで前穂や独標を案内に行く、そして高山植物や動物などの説明をする、そんな先輩達の後ろ姿を一夏の間見続けると、何も云われなくてもズクや、初心者への気配り、登山技術、生活技術など大学山岳部とは何たるかが自然と判ってきたような気がします。その上合宿と違って社会人の大先輩や雲の上の上級生から色々お話を聞くのが最高でした。

2年生になるとエッセン当番として今考えるといたいた物では無いけれど、料理や旨い飯炊きの工夫をして包丁捌きを競い合ったり、客を案内して山に登ったり、村長代理でキャンプファイヤーを取り仕切ったり、気分的に余裕も出てきてお客に來た学生の顔や名前も覚えて会話も出来るようになりました、福原と冬山合宿後の正月にショートパンツにサンダル履きで東京まで行き、サマテンに來た短大生とコーヒーを飲んだ事もありました。

5年目は本と机を持ち込んで涼しいサマテン期間中居候して卒研を纏めました。

また2年目のサマテンで、長野短大1年生6人グループを独標に案内した時に一番バテ、翌年は前穂でバテバテだったのに懲らないで、8年後押しかけてきたのが家内です。

かように私にとってサマーテントは山だけではなく家族の原点にも成ってしまいました。

学士会員交流の場としてだけではなく、現役部員との交流の場、同期の仲間が日を決めて集まる場、学士会員で無い山仲間との登山ベース基地として、そして新たな思いで作りの場として今後もサマテンが続くことを願って、体内時計の8月スケジュールには上高地小梨平サマテンをセットしました。



2001年のサマーテント風景



2005年サマーテント風景 まだ看板が許されていた

グラビア



2006年サマーテント風景 ドーム型テントが出現



2011年サマーテント風景 装備も充実してきた

3. サマーテント・雑人雑感

2007年8月10日～19日

14時設営完了（松尾、寺田、中邨、森田、齋藤、宮崎）

サマーテントの開始です。事情不案内ながら昔のことなど思い出しながら、なんとかテントが建ちました。キーパーの皆様よろしく。 宮崎敏孝

40年ぶりのサマテン。昼のそうめんも昔ながらの味。小梨平のにおいも風も音も昔のまま。手術後の身体もこれで……。また来年も来ます。 中邨康文

でっち奉公の齋藤です。無料で上高地にのせられて設営にやってきました。久々の小梨平、風が心地よいです。上に行きたいなあ。有難うございました。 齋藤 謙

約40年ぶりサマーテント。

設営終わり、こうして小梨平でのんびりしていると、昔のことが思い出される。国啓さんのこと、五郎と小梨を歩きまわり、米や野菜をひろいまわり、深山オコンジキになったこと等々。イヤー懐かしい！

最後まで居て、皆さんにお会いしたいが13日には帰らなければならないのが残念です。では、来年もお会いしたいと思います。 寺田雅治

約20年ぶりのサマーテント。

昔とすっかり変わり、びっくり。若い人達と一緒に居ると、昔の自分を思い出し、懐かしくなります。と同時に自らの体力の衰えを思い知らされました。予定無しで来たのですが、2日間でギブアップです。 田中正治

今回はズク出して、奥又の出合、檜のビストン、徳本峠へ行ってきました。

8月11日から4日間お世話になり、今日、暑い松本へ下ります。「忙中山有」でポチポチ沢登りを続けていきたいと思い、仕事に励んで行こうと考えています。 山崎克則

久しぶりに檜に登ってきました。

駒井さん、宇都宮さん、青春に戻って山に登っています。また連れて行ってください。

45 安間孝治

数年ぶりにサマ天に遊びに来ました。リニューアルされた新世代、次世代サマ天、万歳です。今後もこの最高の遊び場、避暑地が継続されることを願います。

今年は大OBの松尾さんや古賀さんはじめ、SACとサマ天にかける情熱を目の当たりにし、今後退職されるOBの方々を含め新しい大きな波が押し寄せているのを感じました。

サマ天は永久に不滅です。

今日はエリと焼岳の展望台まで行ってきました。シャリパテして疲れました。来年は徳本峠や徳沢に行きたいと思います。上高地に来るたびに穂高の印象が変わります。久々に見上げた穂高は大きかったです。自分の印象よりも一回りも・・・。

昨夜の魚は美味かった。骨酒もたまりませんね。来年も任せて下さい。

また、16日に顔を出します。屏風に行く予定です。今日は帰ります。

大木ぼんど

初めてボンド君に連れてきて頂きました。楽しいサマテン。

登山の経験も無い根性無しなのに、焼岳にも登ってしまいました。(展望台まで・・・)

しかも伊那出身なのに上高地は初めてというお恥ずかしい身の上です。なのになのに皆さん、暖かく迎えて頂いて嬉しかったです。また、来年も来られるといいな。

さかいえり

5年ぶりにサマーテントに参加させて頂きました。美味しい料理に綺麗な風景、最高です。

2泊もしたのに今回は山には登りませんでした。次回来るときは挑戦したいと思います。

流れ星も沢山見ることができました。今度は一人で来ることは無いでしょう。

来年来られるといいのですが・・・。お世話になりました。

若月 厚

サマーテントに初参加させて頂きました。

参加というより招待して頂いたというのが正しいかな。ごはんもお酒も笑いもやすらぎも頂いて、幸せになりました。夜の大イベント「星空観察 in 河童橋」は本当に素晴らしい！流れ星がビュンビュン流れました。日本中、ここ以上に流れる所は無いんじゃないかなって思ったくらいでした。

15日は古賀さんと徳本峠。天気も晴天でガスもなし。コースも良く整備されて歩きやすく、お盆でも人は少なく、自然が堪能できました。焼岳から穂高展望がよくて、持っていた「おにぎり」美味しくてまたまた幸せでした。

何より、テントに帰ったとき、家に帰ったように迎えて下さった皆さん、有難うございました。信大の大先輩方々に出会えたこと、お世話になったこと、感謝忘れません。

有難うございました。

農学部森林科学科 豊田菜美子

40年ぶりのサマ天。設備も新しく楽しみました。今年からサマ天の運営が現役からOBにバトンタッチされましたが、現役の負担軽減、リタイアOBの増加と時期的に絶妙のタイミングでした。松尾さん有難うございました。

今年是不注意から足を痛めてしまいましたので、山行はできませんでしたが、来年は今年
の分も頑張りたいと思います。撤収までお付き合いできないのが残念ですが、皆さん、最
後まで頑張って頂きますように。有難うございました。

金子鉄男

お世話になりました。今年の運営方式は素晴らしいと思います。松尾さん有難うございま
した。毎年参加しておりますが、徐々に身体に優しい山行になっておりますが、来年も来
ます。宜しく願いいたします。明神小屋は素晴らしい。是非、明神ベースの企画も実現
したいですね。

宇都宮昭義

楽しいテントをさせて頂きました。

徳本峠に約7時間かけ、明神池を回り、9時間の山行で、妻の足の調子が思わしくなく、
ゆっくりと歩きました。

孫を連れて山道では手を引いて行けたのは、ジイちゃん満足、満足！

キャリーにダンボール2ヶ、発泡スチロール1ヶの荷揚げをし、自家野菜を持ってきました
ので、最終日は喰いパテになってください。

柴田武明

初めてのキャンプ 楽しかった。

孫 ゆきな

15日の夜に一家4人で転がり込み、16日昨晩は溜沢經由奥穂高登頂、穂高山荘泊と、
家族にとってはかけがえのない思い出になりました。

現役部員の減少により、サマ天の存続が危ぶまれ心配しておりましたが、先輩達のご尽力
により、このように運営が継続されていること、心より感謝いたします。

今後もサマ天が継続できるよう願ってやみません。自分はなかなか力になれなくて申し訳
ありませんが、宜しくおねがいたします。有難うございました。

関 圭三

お世話になりました。奥穂高の景色すごかったです。

関 牧子

楽しかった。

関 紘平 菜々子

4年ぶりのサマ天。場所もテントもすっかり変わっていてショックでした。上高地や穂高
の山々は変わっておらず。都会の忙しい日常を忘れさせてくれました。ありがとう。

また休みが合えば、サマ天に来たいと思います。ではまた。

梶原 恵

8・15 入天 松尾さんと共に奥穂高から来る神野君を迎えに西穂高方面へ。入山前の
急性着臍と夜行バスのせいかバテバテ。独標で神野君と会う。

8・16 板谷さん、川崎さん、神野君と4人で奥又白池へ。年々池の水が澄んでいく気

がする。テントが10張近くあり奥又白の人氣が復活しているようで嬉しくなった。

8・17 松尾さん、神野君と3人で奥穂高南稜へ。19時頃奥穂高に抜ける。三日目と夕焼けが素晴らしく美しかった。

サマテンの常連 駒井 浩

奥穂高南稜 夢の世界へ飛んで行きましたが、本当に険しい世界でした。しかし、この世界は何にも代えがたい世界です。駒井 有難う。松尾さん 安全を有難う。

サマテンに入ったことにより素晴らしい思いをたくさん貰いました。サマテンを続けて下さい。参加します。

神野国昭

久しぶりのサマーテント すすがしい朝でした。このサマーテントが長く続くことを願っております。楽しみました。

新谷 剛

60歳リタイアして40年ぶりに奥又白の池を訪問でき、一つの望みがかないました。

これからどれだけこのサマテンに参加できるかわかりませんが、古い顔の皆様に出会えることに楽しみにしています。

今銚子の百姓 板谷真人

昨年、今年と両足の手術をしたり、低血圧で倒れたりと不調でした。やっと体調も回復してサマテン再訪。下界の猛暑よそに別天地のような数日でありました。

松尾社長、古賀大王、現役三森君はじめサマテン開設に尽力された方々に感謝感謝であります。参加者が主に60歳前後なので先細りにならないよう若手にもっと来てもらいたいですね。

奥又白池からの下りで70歳台の男女3人が岩登りをすると行って登ってきた。

50、60は涙垂れ小僧！

霞沢岳八衛門沢は2年前と同じ場所に出たので驚いた。登り易いところを探しながら行くと同じ場所に集まってしまうのかな。

サル・カモシカが増えたような気がします。

細長く登山を続けたい。そのための体力・気力の充実に心がけようと新たな気分になっています。

川崎 誠

サマ天には、30年ぶりに来ましたが、青春の一頁（全頁？）心のふるさという感じ久しぶりにゆっくりしました。諸兄も皆様お変わりなくお元気で。さすがに70歳？近くになると風貌、身体つきも変化はありましたが、すぐ昔にタイムスリップすることが出来ました。川崎兄、板谷兄にしごかれて焼岳（初日）八右衛門沢（2日目）に登りましたが。後者は参りました。バテバテで両兄にはご迷惑をおかけしました。来年も極力同世代を巻き込んで参ります。有難うございました。

S44年理学部化学科入学 大安徽雄

サマーテントからの挑戦

1) 屏風岩雲稜ルート 大木ボンド 8月17日

ピーカンドと屏風岩はフライパン。曇れと願っていたところ、見事に雲が湧き、曇り時々晴れの快適な登攀日和。岩小屋跡から梓川を渡渉、ルンゼ押し出しをつめて、T4基部に。有り難いことに下部2pの岩にはFixが残っており、大幅に時間短縮。このFixロープは5分後に登ってきた2人組みが前日に残したものだ。T4の頭でお礼を言う。

1p目、快適な大回を登る。このピッチが全体を通して、フリーとしての登攀要素が強く楽しかった。50m

2p目、トポには40mと書いてあったが、1p目の終了点から見える小さな小さなピナクルまで登り、ルンゼに入って25mで終了。最初の出だしが悪くAOで越える。ピナクルとの間のフェースも悪くAO。

3p目、人工ピッチ。フリーに挑戦したかったが、やっぱりムリ。腐ったボルトの横にはベツルのハンガーが打っており、一本目が遠いものの、プリフリできれば安全にトライできるかも知れない。ボルトはリングが無いものも多く、新しい細引きもあれば年季の入った細引きもあり、ここ数年フリーばかりやっていると、土方のような作業で登るのは違和感があるものの、先人の精神に脱帽。屏風に最も美しいラインの弱点をつきながら、開拓するその喜びは想像以上だろう。35m、淡々と人工で登り、右上のフレーク下でピッチを切る。

4p目、目の前の脆いフレークをどう登るか悩んだ末、やっぱりAOで越え、ハング下の狭いバンドをへつって約10mで切る。

5p目、簡単なフェースからルンゼ手前のテラスに。25m

6p目、45m、東壁ルンゼに入る。このピッチが一番登り難かった。雪崩でツルツルの壁。見た目より悪いルンゼ。3p目での人工で、フリーに対する意地も粉々になり、AOマシンになる。手もAO、足もAO、45m伸ばしてようやく傾斜も緩み、いよいよ出口が近くなったようだ。

7p目、傾斜もないスラブと草付きを順調にザイルを伸ばす。泥ルンゼの手前で切る。

40m

8p目、泥ルンゼを登り、樹林帯に入って登攀終了。30m

ここより屏風の頂まで1時間半、ブッシュの登りがしんどかった。ハイ松を抜け、南峰に抜けると、風も爽やかで疲れが吹っ飛ぶ。潤沢カールから槍、振り返れば常念岳、贅沢な眺めだ。この日は下山してサマ天も考えたが、小屋の方々とも仲の良い潤沢ヒュッテでお世話になり、パノラマから下山しました。帰りにお墓に寄り、同行した澤田夫妻と一緒に手を合わせて頂きました。

2) 霞沢岳八右衛門沢 川崎誠 板谷真人 大安徽雄 8月17日

以前には六百山に登り、霞沢岳へ足を伸ばして八右衛門沢を下ったりした。地図にないコースで、パリエーションというほどでもなく穂高を眺めるのに絶好の山、そんな安易な思いで2006年夏に現役の高谷君、OBの駒井君、神野君と行ってみた。沢はずいぶん荒れているし、ガスがかかり何処に居るのか判らない。やっとの思いで稜線に出て徳本峠経由で戻ってきた。それがしゃくで2007年に再挑戦です。

帝国ホテルの少し下、橋を渡ってすぐの工事用車道を登る。車道が終わり砂防槽などを越していよいよ沢に入る。

2ピッチくらいは大岩、小岩を越えて沢に登り、ピナクルが現れた。そこを右に入り、更に登るとガラ場になる。ガラ場がかなり長くて嫌になり、小さな尾根状のかんば林の中を登る。最後はハイマツの上に乗ったり、下を潜ったりして、兎に角上を目指す。1m位の高さの三角形の岩が見えれば、しめたもので縦走路まで100m位です。

とにかく沢に入ると自分の位置が分かり難く、特にガスがかかると心配になってくる。冷静に判断しなければ（人が行かないところなので）危ない。

3) 奥穂高岳南稜 松尾武久 駒井浩 神野国昭 8月17日~18日

サマ天を5時出発、岳沢大滝の下に取り付き 7時30分、登攀開始 8時

何十年ぶりの南稜である。心配していた取り付きの雪渓からのシュルンドは浅く、簡単に尾根の取り付きへ渡れた。駒井トップ、神野、松尾の順で登ることとする。

ルートは尾根から派生する草付きルンゼを直登するのだが、最初の小滝がいやらしい。草付と岩とのミックスを急登する。高度感があるため安全第一でアンザイレンする。トリコニーのⅢ峰目掛けてひたすら直登する。やっとのことでⅢ峰のスラブ下のお花畑へ到着。Ⅲ峰のスラブを直登するルートは加齢により自信なく、ハイ松帯通って裏側に回りこむ。明瞭な踏み跡があり安心感がある。

途中で3mくらいの垂直の岩峰があり、駒井はエイヤーで登る。神野は苦勞しつつも登る。松尾は登れず、右の方へ出てハイ松の中を泳いで登った。Ⅰ峰を過ぎる頃から岩稜歩きとなり、左右がスバツと切れていて楽しいところである。高度感もあるのでアンザイレンして登る。記憶にはなかったアップザイレンの箇所があり6~7mの懸垂下降をする。エイト環は快調であった。後はザレ場をひたすら登り縦走路へやっと出た。19時よたよたして奥穂高頂上へ到着。カンテラを点けて慎重に穂高小屋へ20時に着きました。

いやいや参りました。ザイル50m使用。

4. サマーテント・雑人雑感

2008年8月8日～17日

60歳になる前に一度奥又白で星を眺めながら一杯やろうと常々思っていたのですが。はからずも加賀瀬が付き合ってくれて、7日に貸切で、天の川も久し振りに見れて最高でした。本日サマ天に立ち寄り、先輩の皆様に歓迎されてこれまた感激です。

S45 入学 板東 昭

久方ぶりの奥又白でしたが、相方が板東で疲れました。ハイ。 加賀瀬豊彦

約30年ぶりのサマーテント。一緒に来た息子も40歳にならんとしている。ジャンケンでエッセン当を決めたのが強い印象で鮮やかに思い浮かぶ。徳本峠に登ったかは思い出せないが。何故か当番のことだけが頭に残っている。

今回は奥又白に行けたらと考えながらテントに来了。

小林盛男

サマーテント、森田さんの紹介で来ました。とても楽しく明神岳（五峰）に登りました。有難うございました。 山梨 川島万里子

去年もお世話になりましたが、今年もお言葉に甘えさせて頂きました。10日に滝沢さん以下5名で明神岳5峰に登頂しました。どうも有難うございました。 増田はつね

9日の凄いかミナリと雨、皆様の暖かいおもてなし、ソーメンの湯で具合、私より上手。おかげで明神岳に登頂できました。有難うございました。良い思い出になりました。

お世話になりました。また、2、3日後に来ます。明神5峰に登りましたが。満足と同時に〇〇ッカしました。 滝沢辰洋

フト蝶ヶ岳に登っていないのに気がついて、行ってきました。夜はクマ君が大騒ぎでした。明後日、沢に入るので下ります。また、来年も来れたら来ます。 山崎克則

熊の出た年、連続3夜熊現る！

今年は体調が割合良くて、上高地へ来る前に富士山へ登って見ました。標準タイムプラス20%くらいで歩けましたが、登りでは肩が痛い、下りでは膝、翌日には太腿痛くて、衰えを感じます。すぐ病院へ行ってヒアルロン酸の注射、ハリ、マッサージなどをしてもらった。上高地では松尾社長、宇都宮料理長、柴田農園、板谷農園のとれたての野菜 etc,etc な

んとも贅沢。準備、運営のご苦労に感謝、感謝です。

8・9 ひょうたん池は20年ぶり位か、タカをくくって行って、帰りはバランスの悪さを見せ付けてしまった。(川崎、松尾、柴田)

8・10 明神岳五峰 繊維学部の滝沢准教授一行にくっついて、思いがけず明神岳へ行ってよかった。踏み跡以上の道が出来ているとは知らなかった。あちこちの山を思いがけない角度から見られたのは良かったのですが、傾斜のきついこときついこと、平均45度位ありそう。皆さん明神岳五峰へ行きましょう。皆が歩けば道が出来てもっと歩きやすくなるだろう。(滝沢、熟女三人、川崎)

8・11 S字ルンゼ散策のつもりが、藪の中でルンゼに辿りつけなかった。藪に入るのが手前過ぎたようです。藪こぎ上り下りたっぷり2時間。バテました。(山崎、川崎)

8・12 焼岳、去年は大安君と行って中の湯へ下りた。道は分かっていたつもりが記憶と随分違っている。過去の記憶が如何に当てにならないか痛感です。明神岳をじっくり眺めても、昨日何処を上ったのかよく判らない。どう見ても峰が4つにしか見えません。

(小原さん、八坂さん、川崎)

懐かしく嬉しい5日間を有難うございました。丈夫で長生きしたい。 川崎 誠

年齢が一周違う弟と二人で徳本峠を往復しました。昨日の雨も上がり、峠から振り返って明神岳の勇姿に今更ながら感銘を受け、サマーテントに結集されている皆様の年齢差も感じさせない仲の良さに感心しました。初めての参加でお世話いただいた皆様に感謝申し上げます。

板谷勝仁(78歳)

8月10日～15日 上高地滞在、久しぶりのサマテン訪問、20年ぶりくらいか？昨年までに日本百名山卒業しましたので、これからはぼちぼち原点の上高地へ来たいと思っています。

35年卒文理 小原 武

10日の明神五峰に登って、一旦帰りましたが、また来ました。上高地の涼しさは下界の暑さがウソのようです。いつも食事の支度をして頂いて大変感謝です。

滝沢辰洋

松尾、神野に連れられ、S字ルンゼ途中まで行くことが出来ました。有難う。小原さん、伊東さんにも会うことが出来、楽しく過ごしました。サマテンの運営に協力でございけません。そのうちに手伝います。

平 邦彦

焼岳に登る。松尾さん、石山さんと6時40分にサマテン出発。凄いスピードで登る、焼岳頂上より展望。山頂にて石山さんのハーモニカで松尾さんが高校時代の校歌を唄う。私は聞き役。登山口に着いたのが13時5分、新人合宿時代のスピードではなかったかと思う。風呂に入って、ビールを飲む。駒井君と合流。楽しい一日でした。皆さん有難うござ

います。

神野国昭

今日は朝風呂（アルペンホテル3名、上高地ホテル2名）でさっぱりして、宇都宮さんの作ってもらった朝食を食べて出発！（前夜の食事・飲み会とても楽しかった、また来たいな）明神〜徳沢〜新村橋〜明神池〜河童橋、所要時間6時間、こんなに歩いたのは久しぶり。明神の頂上くっきり見えて素晴らしい。帰り道は割りと単調で睡魔に襲われながら歩き続ける。途中殆ど人に出会わず。会うのは熊（？）の緑のウンコとペッタンコになったカエルばかり。その度にビックリさせられ眠気が覚めました。梓川の水の綺麗さと冷たさ。嘉門次小屋のイワナの塩焼き、美味かった。皆さん有難うございました。楽しかったです。また飲み友達を連れてきます。

静岡 白井チーム

実に48年ぶりにこのサマーテントに訪れる機会を得た。松尾君が信大山岳部1年生の夏であった、高校の同級生であった私は彼の誘いを受けて同級の男女7名ほどで初めてこのキャンプ地で本格的な登山なるものを経験させてもらった。前穂高、蝶ヶ岳と案内してもらったが、ただだしんどい思いが強烈に残ったが、その印象がいつも思い出されるのは上高地という別世界に仲の良かった仲間達と分かち合えた時間の清冽な思い出が青春と結びついてたからだろう。小梨平の樹木はその頃から見れば確実に成長し、若木は成木に、成木は壮木に、壮木は大木へと時間を刻んでいる。

私もそれだけの時間を刻んできたのが果たして単なる老木へと時間だけが過ぎてしまったのではないかと心もとない限りだが、松尾君を通じてここで巡り合った人達のそれぞれの人生を伺い見て大いなる励みを頂けたことはとても意義があったと思う。今回は槍から西穂高への踏破を夢見て来たが天候に拒否されてしまった、其れはそれで良し。幾夜かの楽しいキャンプが慰めてくれた、次回再びチャレンジする機会があらんことを！

駒井、神野、松尾諸兄に感謝するとともにこのキャンプで一緒できた皆さんにお礼申し上げます。宇都宮さんの料理を美味しく頂きました。感謝！！

石山 駿

サマーテントからの挑戦

1) 明神岳東稜ひょうたん池

川崎誠 松尾武久 柴田武明 8月9日

信大の明神ステーションのそばを流れる沢の橋を渡って樹林帯の中に入る。下宮川本流の方へは行かないようにして、右へ右へと行く。沢が出てくるのでこの沢に沿って登っていく。右側に白いザレを見ながら宮川の谷に立つ一本の枯れたカラマツを目指して登る。五峰の中央フェースを仰ぎながらガレ場を横断する。途中に大岩があり、唯一休憩できる場所である。落石があっても隠れることが出来るので安心である。四峰から来る尾根の下部の岩場には慰霊碑が3箇所あるが、そこを20mほど下降して樹林帯に入る。踏み跡が

不明瞭だが、ヒョウタン池めざしテトラパス気味に登っていく。お花畑が美しいところである。そこを過ぎるとヒョウタン池に着く。

コースタイム サマテンから約2時間半～3時間

2) S字ルンゼ

平 邦彦 松尾武久 神野国昭 8月13日

昔懐かしいS字ルンゼへ行く。前日、川崎さん達に取り付きが分らず、むなしく帰ってきたので我々がチャレンジした。

岳沢への分岐点から明神方面へ行くと、道が梓川の最も近づくところに右側に古い倒木が横たわっている。そこから80mほど行くと、左側の山からガレの石が見える。そこを登っていくと、大きなガレに到着する。これがS字のガレである。

荒れたガレを登っていくと、小さな滝があり。これを左に巻いて、さらに登っていくとだんだん狭くなってくる。前方に大きな岩（崩落したもの）が出てくるが、これ以上は落石の巣でとても行けない。予想以上に荒れているでビックリした。

3) 明神五峰南西尾根

滝沢辰洋 川崎 誠 熟女3名

岳沢の登る道を行くと、「標識7 風穴」とある地点から右に尾根道を登る。不明瞭な尾根の急登、尾根をはずさないよう、ひたすら登る。勾配が急なためスリップに注意。踏み跡はハッキリしている。2100mくらいから尾根筋がはっきりする。途中フィックス箇所が2～3箇所あるが、夏なのでロープに頼らず登ることを薦めます。2450m位からハイ松混じりに気持ちの良い（見晴らしの良い）登り、浮石に注意！五峰まではまっすぐに登る、四峰へは左に回りこみながらハイ松タイを登る。

サマテン 5:10 風穴 5:40 五峰着 9:15

5. サマーテント・雑人雑感

2009年7月31日～8月16日

久し振りの快晴。久し振りの小梨平の朝の空気を味わう。身体と相談しながら岳沢を少し登って帰ろう。秋の皆様のご健闘を祈ります。

中邨康文

誰が男か女か？大雨の中、田代池、明神池散策。脑梗塞リハビリ中の男性一名、喘息持ち女性を案内して、総勢四名有り難く、楽しくお世話になりました。

5時起床、雲ひとつ無い晴天、晴れ男の本領発揮。7時徳沢に向けて出発、13:30サマ天着。徳沢より工事用の仮橋を渡り、明神まで無人の下山を果たした。キーパー様、遅く着きご面倒をおかけ致しました。一人で頑張って頂き有り難く、一同楽しい上高地周辺の散策が出来ました。

奥嶋啓志

2日の入山日は大雨に祟られましたが、その後は幸運にも晴天に恵まれました。家族サービスに相助めたと思いますが、当人達はどうであったか・・・？

宇都宮エッセン担当殿には大変お世話になりました。来年は入門したいと思います。

小林元紀はじめ6名

島々谷出合（バス停）5:45、徳本峠12:00、サマ天14:30、新人合宿の頃を思い出しながら徳本を登りました。20年ぶりのサマ天でしたがたが楽しい一時でした。新入の皆さんのご健闘と安全登山を祈ります。

澤田克彦

6時過ぎ出発。V峰西尾根（西南支稜）に取り付き岩稜帯に差し掛かった頃、雨になり敗退。下りてきたら晴れてきた・・・。

三坂岳広

昨日は駒井君と岳沢へ行き、西穂高連峰。六百山を見る。楽しい一日を過ごしました。サマテンに来ると本当に楽しい。今日は下山。来年はサマテンの手伝いをしたいと思います。有難うございました。

神野国昭

あらよ、7～8年ぶりに顔を出しました。テントは新しくなりましたが、中の雰囲気はそのままで安心しました。安全登山で楽しいサマテンライフを楽しんでください。

岸本俊朗

サマ天が夏の楽しみの原点です。毎年設備や食事が良くなっていくので、来年が楽しみです

す。ただ、体力が無くなって来るのが残念なのですが、テントキーパーの皆様有難うございました。

板谷真人

うすいチームの小林です。昨年に続き2回目の参加です。今年は天候にも恵まれて前穂高にトライさせてもらいましたが、残念ながら来年になりました。とても素晴らしい体験と思いで作らせて頂きました。お世話になりました。

小林

二度目の参加のうすいチームです。昨日紀美子平の直前でリタイア、無念ですが満足感があります。素晴らしい景色を今度は頂上で見たいです。大変お世話になりました。

新村

2度目の参加、うすいチームの岩崎です。今年は前穂高に挑戦というとてもないチャレンジ。頂上には駄目でも鬼の立場というところまで行くことが出来ました。サマーテントの皆様と山崎さんに大感謝です。来年もまたお世話になりたいです。宜しくお願いいたします。

岩崎

昨年、来年は西穂高か前穂高に行こうと決めたので、今年チャレンジいたしました。若い頃と比べ岳沢ヒュッテと前穂高の登り下りは予想以上に大変でした。いつまでも若くないということです。また、来年撤収のため来ます。

白井

楽しい話とおいしいお酒。また聞いたことのなかった歌の数々、思いで深いものになりました。次回も楽しみにしております。

谷本

家族3人、3日間大変お世話になりました。この3日間は「非日常の世界」でした。こんな楽しい機会を持てて感謝しています。今後とも宜しくお願いいたします。

喜多

サマ天を基地に槍ヶ岳へ行ってきました。私は1960年に入学したとき5年生だったイートンさん、前山さん、卒業していた小原さんと伝説の方々のお供であります。イートンさん、前山さんは山岳部員ではなかったけれど、溜沢や槍沢でボッカをすれば、30貫以上担ぐ怪物で、あちこちの山小屋で働いていた山のプロであります。

14日、どしゃぶりの雨となり槍沢ロッジで泊

15日、天狗原經由南岳、中岳、大喰岳、槍ヶ岳、山荘泊

天狗原からの登りは景色が素晴らしかった。中岳あたりは以前の記憶ではまき道があり水場もあったのですが、道が変わったのか稜線どおしとなっていた。パテました。槍の穂先は順番待ちで登り1時間、下り30分

16日、槍沢をただ下りより東鎌尾根を歩いてみようとして下り始めたらなかなか手ごわい。

殺生小屋のところを下りて、後はひたすら歩くのみ。バテました。

後の2日間は好天に恵まれ大先輩方々の伝説、神話をじかに聞けて、なんとも楽しい3日間でした。

松尾、宇都宮、古賀諸兄その他大勢の皆様の献身的な努力で今年もサマテンは無事終了。

贅沢なこんな楽しみを長く続けたいものであります。謝謝！

川崎 誠

8・12～16 槍、天狗原、東鎌尾根に遊ぶ。昨年に続いての上高地小梨平BC訪問。

夏のひとときを毎年、旧友の顔を求めて訪れる楽しみを共有したいもの。テントキーパーの皆さんのボランティアに感謝、来年も宜しく。

小原 武

8・13 奥又出合お墓参り、14 下宮川谷、15 焼岳、帰途のビールがマシソヨ！

(美味) 食事の美味しさに驚きました。キーパーの皆様有難うございました。アンニョンハセヨ！

葛西正美

8・14～16 お世話になりました。今年で3年目です。15日は徳本峠まで行って来ました。来年はヒョウタン池から明神そして前穂高までいけるといいな—と思いますが。

私しごときがそんなことを云っても良いのかな????

どうも有難うございました。

増田はつね

古賀店長のお誘いで参加させて頂きました。山岳部とは縁もゆかりもない学生ですが、見晴らしのいい上高地で、ちょっとした避暑ができて心に残る2泊3日でした。2日目の岩魚は美味、あと2～3本食べる時間が無かったのが惜しいです。次こそ！

農学部食糧生産科学科 2年 徳武優佳子

3日間お世話になりました。昨年くらいから古賀さんにサマテンの話をたっぷり聞かされて、楽しそうだな—って思っていました。そして来てしまいました。岡村さんに「中学生か」と云われてしまったので、来年は大人の女になって遊びに来たいと思います。たくさん寝てすいません！！

農学部森林科学科 4年 板倉 操

古賀です。今回は小娘3人連れて来ました。たくさんこき使いました。もっと晴れれば楽しめたのにね—。今年は設営と7日～8日、12日～16日の3回来ましたよ。

古賀 聡

今年は土日X3でした。雨の多い夏で沢はまだ2本です。来週また入渓する予定です。

山崎克則

サマーテントからの挑戦

8月2日～8月5日 槍・穂高縦走

松尾武久 石山駿 大島いよ子（60周年・アンナブルナー周隊員）

昨年、松尾 駒井 神野 石山で同コースを計画したが、悪天候のため殺生小屋で敗退。
今年はそのリベンジとして計画した。

2日 12時にサマーテントに集合、雨の上がるのを待って槍沢ロッジへ出発

13:15 出発～17:15 槍沢ロッジ到着

3日 三人の日頃の行いの良さか久し振りの快晴。水俣乗越から東鎌尾根のルートとする。

5:50 槍沢ロッジ～8:00 水俣乗越～10:30 大槍ヒュッテ～

11:10 槍ヶ岳山荘

東鎌尾根はかつての面影はなく、3パーティーに会っただけで、表銀座も寂れたものだ。槍頂上へ行くがオパチャン達のパーティーに着いたため1時間以上かかり、ウンザリする。明日のために南岳小屋まで行くことにした。

13:30 槍ヶ岳山荘～ 16:15 南岳小屋

4日 今日快晴で素晴らしい山の姿に感激。長谷川ビーク前で完全武装。飛驒泣きも慎重に通過、鎖場はセルフビレーを徹底した。A沢の入り口からの直登は浮石が多く要注意。現に先行パーティーの落石が体の近くを通過。くわばら、くわばら。

6:00 南岳小屋～ 10:00 北穂高頂上

北穂高から潤沢岳の間がこんなにショッパかったかと全く記憶に無い。潤沢岳の出口の凹角のみ記憶有り。

10:45 北穂高～ 13:25 穂高小屋

明日の難場を考え個室とした。@8500円

5日 いよいよ最終、もっとも難しいルートに入るので早立ちとする。

4:50 穂高小屋～ 5:20 奥穂高頂上～ 8:50 天狗のコル

馬の背は左右にスパット切れているので、ザイルを出して確保、昔は身軽でこんな所どうってことなかったのに、今回は四つんばいである。ジャンダルムの頂上で万歳した。天狗の下りも慎重に歩き天狗のコルへ到着。スープとお茶を作って朝食を取った。

9:35 天狗のコル～12:50 西穂高頂上～ 14:00 独標

15:00 西穂高小屋

間ノ岳の登りのところで逆方向のパーティーが3パーティー続き、しばらく待った。ようやく西穂高頂上に到着。硬い握手をかわす。

難場が終わった安心感から疲れが出てくる。意外に独標までの上り下りに時間がか

かった。西穂高小屋でチョット休憩して、16:45のロープウエーに乗るために
ひたすら歩いた。

長い一日がやっと終了。生ビールの美味かったこと！！

やはりこのルートは日本一岩稜歩きのルートであることを再確認した。一時も気を許るす
ことが出来ない厳しいルートである。35年前に小川勝、中邨康文と三人で残雪期に北鎌
尾根から西穂高まで行ったが、こんなに厳しかったという記憶が無い。若さというのは素
晴らしいし、荷物もテント泊の装備だから相当重かったと思う。

小川勝のことを思い出しながらの山行であった。



ジャンダルム頂上から奥穂高岳 馬の背のルートがよく見える

6. サマーテント・雑人雑感

2010年7月29日～8月15日

8月1日からサマ天に入山、数年ぶりのサマ天を楽しませて頂きました。8・1は徳本峠、8・2は明神五峰に登ってきました。徳本まで1時間30分、誰かこの記録を塗り替えてくれ！板谷さんのアフリカン・カレーにはやられました。辛美味しかったです。来年もまた来たいですね。松尾さん有難うございました。

三森武志

7・31にサマテン入り、翌日の8・1～8・2にかけて焼岳～奥穂高～岳沢と行ってきました。サマテンのすき焼きと焼肉が最高です！普段よりも美味しいものを頂きました。ジャンダルムも達成感があり、いろいろ行きたいなー、松尾さん、宇都宮さん、多くのOBの方、有難うございました。

小平

日程の都合がついて2年目にして初のサマ天入り。山行は上記のとおりで、ようやく一般路に飽きてきた。次に来るときは明神やらバリエーションやら非常にたのしみだ！

サマ天で肉を食って、山を登って大満足。

土田

年金生活に入ってから二度目のサマーテント！天気も良く、懐かしい奥穂高、前穂高に登って大変Good！でした。来年あたりはキーパーの応援に来ねばと思いますが、男の料理を学ばねば役に立ちそうにありません。メタが解消も兼ねてやってきましたが、美味しい料理に沢山のお酒を頂いて太って帰ることになりました。有難うございました。

小林元紀

川がつめたくて足しかはいれなかつた。山のぼりもきつかった、ソフトクリームを7個食べた。ケイタイとDSのでんちがなくなって、つまんなかった。

河津菜月

板谷さんに連れてきてもらいました。孫のなつちゃんにはちょっとキツかったようです。

山が嫌いにならないように、そう願います。

山崎修一

40年ぶりのサマ天、松尾さん、板谷さんお世話になりました。有難うございました。懐かしい昔の思い出話はあることがありませんでした。何とか来年も生き延びてまた来たいと思っています。

山田和彦

7・29 新宿発上高地行きバスで早朝5:30到着。午前中、自動車で乗りつけた古賀さん達と設営する。ドームテントを組み立てるのにどの位の時間がかかると思いますか。

7・30 前穂高行き、出発が8:30と遅かった。一日中曇り、ガス、小雨ばらつく。紀美子平まで登って登頂断念。登り6時間、下り4時間、バテました。新設の岳沢小屋の屋根が平でも雪に強いのだろうか。

7・31 沈殿

8・1 西穂高行き 静かな樹林帯を抜けて西穂高小屋につくと人、人、人の群れ、ロープウエーで来るのが今は主流であります。登山道も順番待ちが何箇所もある。外国人が多いねエー。おばさんパワーの凄さ。独標では座る場所を探すのに一苦勞。天気も良くなりすぐ下山。中尾峠〜奥穂高に行った現役2名と途中で会おうかと思ったけれど、すれ違いだった。登り5時間、下り4時間、バテました。

8・2 明神五峰行き 三森君について行く。岳沢道の標識7から右へ登ります。一昨年に滝沢グループについていって、今回は2回目、バリバリの消防士、三森君なんとも心強い。森林限界まで急登であります。途中、工事用の虎ロープ設置、白くさらされた残置ロープ箇所あり、頂上直下はガラ場、ハイ松帯などをぬって行くが左に見える稜線沿いが歩きやすい。三森君のバランスの良さ、強さに感嘆する。岳沢で現役2名に出会い、一緒に下りてきた。頼もしい金の卵です。

8・3 槍沢、涸沢方面散策 横尾にテントを張って涸沢を見に行く。いつか横尾本谷を歩いてみたいので、少しでも入ってみようとしたが考えが甘かった。本谷橋は本谷出合いより下にあります。結局本谷を遠望して下りてきた。屏風岩の大絶壁さすがに凄い。岩小屋は無くなっていて標識だけあった。一人の夜は寂しいよ。そんな時は何故か反省ばかりして気が弱くなる。

8・4 目が開くと4時、半月が皓々。前穂高東壁が赤く染まる。現役の頃通いなれた槍沢、道がすっかり良くなっていた。50年前と比べると雪は確実に少なくなっている。それでも槍〜南岳の東面は残雪がベッタリ、天狗原はまだ池が現れていない・雪の上でサル群が遊んでいる。天狗原はおすすめです。登山道から40分ほどの寄り道、槍ヶ岳から槍沢を下るなら是非おこしあれ。

☆外国人が多くなった。特に韓国人「アンニョン」のひと言でニコリ

☆おばさんパワーが凄、単独の人は頼もしい、グループにはゲエー、うるせー、マナーが悪い、道の真ん中で休んでいたり、登山マナーじゃないよ、社会人としての良識のレベルじゃ！

☆山も金がものをいう、山小屋で生ビール、ソフトクリーム、etc何でもあり。

☆高校生など若者グループ隆盛、来たれ信大山岳部

☆来る人去る人懐かしい名前、新しい出会い、涼風etc、贅沢三昧、サマテンの企画、実施で苦労様。有難う

川崎 誠

昨日、岳沢小屋まで約3時間かけて登りました。さらに頂上を目指す予定だったが、心臓が悲鳴をあげたため断念。約2時間かけて下山。その後杉本さんと乾杯のビールを痛飲す

る。夜はまたまた飲む、楽しいひと時でした。また上高地に来たいです。

上村隆雅

昨日は前穂高を目指すも、紀美子平直前で断念する。標高差1400mを頑張ったことに満足。テントでの交流会、外人さんも3名を加えて盛会で楽しかった。上高地の3日間、また楽しみたい気分だ！皆さん有難う！！

稲垣 清・啓子

30年ぶりにサマテントにきました。昔1ヶ月も現役で滞在したことがあります。下界より涼しく、生活費ゼロが魅力でした。現役主体のサマテントでした。今は徐々に暇なOBが増えて頼もしい限りです。私も暇なOBになりつつあります。今後も楽しい時間を求めて、また来たいです。本日蝶ヶ岳を越えて安曇野へ帰ります。毎日眺めている蝶ヶ岳は初めてです。それにしてもサマテントの食糧事情は全く変わりました。「ごろごろしていると必ず太ります」

高橋雄治

明神池散歩、明神五峰を登っている雄治、杉本さん、ローマスを梓川から見上げてボーッと、雲の動き、化粧柳の葉の揺れ、川の音を聞きながらNothing、何も無い至福の時間を過ごすことが出来ました。サマ天のキーパーの松尾さん、山崎さん、宇都宮さん、古賀さんその他沢山の支えて下さる方々のお陰で、食事もお茶もサービスして頂き（みんな美味しく）感謝！感謝！一期一会でお会いした方々も心に残りました。いつの日か雄治もキーパー予備軍に……。私も身体を鍛えます。次回は徳本峠まで。

高橋陽子

高橋さんに誘われてきました。来る前はいろいろ厳しいだろうと思ったが、気軽に過ごせて楽しかったです。明神と一緒にいった雄治さん、杉本さん有難うございました。あと皆さんも。

ローマス・レズリ・鉄木郎

今までお話は聞いておりましたが（信大外です）初めて参加させて頂きました。すばらしい景観の中で、これまた個性的なすばらしいお仲間の中で至福のひと時を過ごさせて頂き感謝しています。前穂高を目指しましたが途中で断念、昨日徳本峠の真新しい小屋まで行くことができ、また訪れたいと思っています。これからもサマテンメンバーの皆様にあかれ！！

篠 豊子

初めて参加させて頂いたサマーキャンプテント、何もかも初めての経験です。山岳部の皆様の物凄い心入れと意気を肌に感じ、絆の深さに大感動しました。男性料理のダイナミックさ、これまた圧倒させられました。天気は上々、山は最高のご機嫌、日頃の生活とは全

く違った空間に居させて頂いた3泊4日、とても至福なひと時でした。心が洗われました。
有難うございました。また来年もという気持ちです。皆様方のご健康とこれからますます
の発展を！

石山清子

今年も再びサマタに来ることができました。昭和47年夏に松尾氏に誘われて高校同級生
と共に前穂高の頂上での感激が懐かしく思い起こされる。再度の前穂高挑戦となったが、
さすがに年齢のカベにはばまれて紀美子平を目前に敗退してしまった。しかし、前穂高の
登りは心地良かった。感謝で一杯！ サマテンでの人の和も素晴らしい。また来年も来ら
れることを願ってます。感謝、感謝！

石山 駿

また今年もいつものメンバー+ニューフェース2名の計6名で来ました。山で一杯、下り
で一杯、風呂から出で一杯、テントに帰って一杯、いつもいつも一杯の静岡飲んべえ集団
です。来年も多分どこかを登るために来る予定です。

白井 武

今年も3回目の参加をさせて頂きました。今回は3年前のサマキャンプ参加が縁で結ばれ
ました妻の紀子と一緒に来ました。またよろしく願いいたします。

白井軍団 小林昭彦

猪、最高！ 山はこの次トライです。短い時間だけど別世界でとても楽しかったです。
生きている間の目標が2つになってしまいました。前穂高と徳本峠、頑張ろう。

白井軍団 小林紀子

初めて参加させて頂きました。上高地も初体験でとても楽しい時間を過ごせました。今度
はもっとゆっくりうかがいます。

小関克也

とても心地よいときを過ごせました。有難うございました。来年は山登り頑張ります。

小関佐幸

昨年よりサマーテントにお世話になっています。今年は日頃の不摂生から体力に自信がな
く、前穂高は途中から下りてきました。来年は体調を整えてきます。それから水冷式食糧
貯蔵庫も考えてきます。

43年工学部卒 梶谷

初めて奥穂高南稜へ行ってきました。高度感に足がすくむことも多かったのですが、いろい
ろ自分自身の課題も見つかり面白かったです。時間が遅くなり雨の中ヘッドランプで下山
したとき、皆さんが暖かく迎えて下さりとても嬉しかったです。美味しいご飯も有難うご
ざいました。

佐藤祐樹友人 高橋奈津子

今回はいろいろとお世話になりました。本当に有難うございました。登山はここ何年か前から始めましたが、友人の誘いを受けて奥穂高南稜へ行き、初めての経験をたくさんさせて頂きました。一緒に行って頂いた方に助けてもらい無事下山でき、ホッとしています。次回はもっと準備をしておきたいと思います。テントでの食事はとても美味しかったです。有難うございました。

佐藤祐樹友人 大高由賀

40年ぶり（学生のとき以来）のサマーテント、6日に入って7日には明神五峰に登り、9日には前穂高に行ってきました。目標の一つ西穂高には行けなかったのが、来年までとって置きます。いろんな人と会えるのが、そしてすぐに旧知の友のようになれるのが良いですね。

杉本敏宏

乗鞍から上高地へ入山しました。学生時代歩き廻った北アや上高地が懐かしく、久々の上高地です。釜トンが生まれ変わり驚きました。山岳部サマテンは昔お世話になりましたが、今回は諸先輩方のお話を聞かせて頂いて嬉しかったです。仕事も少し暇になってきたので昔を懐かしむ意味で、車やロープウェイで行ける山々を巡ってみたいと思います。次回は孫たちを連れて訪ねてみたいです。上高地サマテンが続くことを期待しています。どうも有難うございました。

昭和44年卒 林科 岸本英樹

栗田さんに明神五峰西尾根に連れて行って頂きました。2400m付近の岩場まで行っただけですが、ロープ等の用具が無いということで引き返してきました。登山初心者ですがいろいろと連れて行っていただき楽しい良い経験をさせて頂きました。有難うございます。来年も是非参加させて頂きたいです。

農学部森林科学科3年 田原佳世子

雨の中、奥又白出合のお墓で格さんと酒を飲みました。板谷氏、宇都宮氏に同行。サマテンのお酒は美味！お世話になりました。

葛西正美

前半千葉の山仲間と孫娘（10歳）を案内、西穂高丸山、徳本峠小屋訪問、天気はバッチリでしたが、後半は大阪から2年ぶり兄（80歳）が来たのですが、朝早く着いた兄が一人で槍沢入り口まで行き、足を痛め、天気も悪く13日に大阪へ帰りことになりました残念。雨の中お墓参りに宇都宮氏、葛西さんと行くことができました。来年のサマーテントにまた来られるのを楽しみにします。テントキーパーの人々にはお世話になりました。

板谷真人

12日より家族3人でお世話になりました。2日目は家族で洞沢まで往復、3日目は終日

雨で上高地周辺をゴロゴロ、今日は天候はもう一つでしたが、当地は大変涼しく充実した Vacation でした。お世話して頂いた皆様有難うございました。

喜多（他2名）

12日よりお世話になりました。入山のときから下山のときまで、今回は雨に祟られ、普段の行いの悪さを反省しています。また、今回は昨年ネパールのトレッキングに参加した武蔵高校OBの坂本君と一緒に来る予定でしたが、彼は仕事の都合でこれられませんでした。皆さんに宜しくとのこと。来年はもう少し早めに天気の良いときに来たいと思っています。

向後利彦

48年ぶりのサマ天、やっと来れました。テントやテント場等新しく様変わりにはビックリ、今浦島の感がありました。ただ会う人会う人皆懐かしく、素敵な方ばかり、雅治が生前お世話になった方々との出会いには感激しております。流石！信州大学山岳部の底力、歴史の厚みを感じました。いつまでも「ただいま！」といえる暖かいサマ天お続けくださいますようお願いいたします。

松尾氏の一押しで槍への一人旅（31～1）も出来ました。翌日の西穂高、7/25甲武信岳、7/27車山、7/28白馬唐松岳等一応五峰を同行二人（ただし、故旦那）の気持ちで歩きました。山と自然は心も身体もリフレッシュしてくれました。これからもしっかり歩きつづけます。総ての方々に感謝！合掌

寺田恵子



48年ぶりのサマーテント訪問の故寺田雅治氏夫人恵子さん

7. サマーテント・雑人雑感

2011年7月31日～8月15日

設営隊 古賀、宮崎先生、岡崎さん、杉本さん、小林さん。江川君

6:00部室 8:15ふれんず岡崎 9:00上高地 12:00荷揚げ完了

ちゃっちゃと設営できました。

古賀 聡

7・31の設営に参加してからずっと居座り。8・2に入ってきた妻と共に蝶ヶ岳へ行ってきました。8・4になってようやく晴天に恵まれました。もう少し長居したいのですが、家の方で用事があるので今日帰ります。

杉本敏宏

8・1名古屋から木曾谷經由JRで松本着、駅で松尾さん宇都宮さんのご好意で車に乗せてもらい、買出し後サマテン着。何十年ぶりかのサマテン変化多。

8・2宇都宮さんと奥又の押し出しへお墓参り、その後松高尾根取り付きまで、あの急登を定着の重荷を背負って登り降りしたとは、嗚呼、現役時代が懐かしい！

8・3前日のフラフラ・ヨタヨタ歩きに自己嫌悪。これを振り払うためのリハビリで岳沢ヒュッテまで足慣らし。一時にわか雨。

8・4焼岳へ。頂上で若い女性二人と話す。信大山岳部のことを良く知っていた。カワヒイネ！

8・5 10:10上高地発のバスで帰ります。有難うございました。

武藤一郎

50年ぶりのサマテンです。半世紀経っても変わらないのは上高地の自然ですね。建物、交通機関等社会インフラは全く変わっている中で、6日は焼岳に登りました。上高地周辺の山々は大体登っていたつもりでしたが、何故か焼岳だけ残っていた。長年の思いを達成できたことが嬉しい。サマテン村長、キーパー、同宿の皆様、楽しい二夜を有難う。

小宮良雄

二年前うかがったおり、サマーテントの楽しさを想い出し、今回またうかがいました。山岳部時代の恐い先輩達と楽しい会話ができました。宇都宮さん、駒井さんを山岳部時代は遠くから見ていた新人の一人でした。それがこれほど親しく話してもらい感激しております。

山崎さんは後輩になりますが、あの落ち着いた話方が好ましく思いました。これから毎年うかがえたらと考えています。信大山岳部のサマーテントが長く続くように祈ります。

昭和45年農学部卒業 小出 元

6日早朝木曽駒から雲上の南アや富士の景観を楽しみ、伊那で2泊。伊那祭りと花火を楽しんで小黒川谷でキャンプ、昨年に続き上高地サマテンで2晩お世話になりました。体調が良くなってきたので明神池にチャレンジ、往復7Kmを4時間半かけて踏破し、少し歩く自信ができました。今回はのんびり一人旅で上高地でものんびりできて心の洗濯ができました。山岳部OBの皆様に親しくお会いでき、昔の話も非常に興味をそそられました。また家族や孫達を連れてきたいと思います。有難うございました。

昭和44年林科卒 岸本英樹

今年はほんの2泊でしたが、上高地サマテンを堪能しました。小原武さん、小林実さんとひょうたん池往復が精一杯です。下りのバランスの悪さに我ながら悩まされました。

- ・ひょうたん池往復で2パーティー3人と出会う。
- ・警察官が蝶の密漁防止とかで登ってきてザックの中味を調べた
- ・明神でイワナの骨酒、これは美味かった。入れ歯と眼鏡忘れずにすんだ
- ・毎年ながら古賀サマ、宇都宮さん、駒井さんたちのご尽力に感謝です
- ・現役諸君の頼もしさ、中又白、北壁へ行くという
- ・テントの機能性、建て易さ等用具の進歩は凄い
- ・心を残して下山します、有難うございました。

川崎 誠

何年振りのサマテンか、思い出せないくらいの久し振りの参加です。設備・食糧の面の様変わりには驚きであるが、思えば当然のことであるが、ただ変わらないのは、訪問者の笑顔と部員の優しさです。山岳部の伝統は引き継がれており、50年前に戻り誠に楽しい4日間でした。さすが登山の範囲は狭くなって行ける所は限定されますが、ここサマテンに居るだけで幸せを感じます。皆様に大変お世話になり感謝感激です。有難うございました。

小林 実

ここ3年訪ねています。卒業後しばらくと中途は足が遠のいていましたが、リタイア後は出来るだけ健康維持を兼ねて、訪ねて夏の涼を取りたいと思っています。旧い顔に出会えることは自分にとって何よりの財産です。今回は73歳に鞭打って「ひょうたん池」を往復しました。来年は何処まで出来るか楽しみにしています。

信大サマテンを訪れる皆さんに乾杯！

小原 武

双六小屋より下山しました。槍ヶ岳を過ぎて失速してしまいました。山小屋よりグッスリ眠れて最高！

長島一男 長島妙子

約2年ぶりの登山にきました。残念ながら山岳部ではありませんでしたが、卒業生ということでお誘い頂き有難うございました。

H22 森林科学科卒 横山三七子

20年ぶりの上高地でした。1泊でしたが貴重な経験をさせて頂きました。ネパールのスパイス、ココナッツミルク、トマトのピリカラ・カレー、本当に最高でした。何も役に立たず、皆さんがせわしなく働いている姿を指を咥えて見ていただけでしたが、また参加する機会があれば、そのときはまた宜しくお願いいたします。1泊2500円の価値は十分にありましたヨ！

上高原 隆

緑なす山々の美しさ、木洩れ日の中での散策、すきとおった凍るような水の冷たさ、美しい梓川沿いの散策・・・。憧れの上高地、40年間いつか行きたいと思いながら、松尾ご夫妻が誘って下さり本当に楽しい心満たされるひと時を過ごすことができました。また、テントでの考えられないようなプロ並みの美味しいカレー！爽やかな優しさ心に満ちたホスピタリティ。本当に有難うございました。

上高原祐子

設営にも来られず、撤収も満足に手伝えず誠に申し訳ありません。しかし、今年の上高地は雨も少なく Very Comfortable でした。古賀様、宇都宮様はじめサマテン運営スタッフの方々には本当に頭が下がります。今後とも宜しくお願いいたします。

滝沢辰洋

今回4年目の参加です。前穂高断念、徳本も体調不良でリタイア。今年こそは焼岳にチャレンジ、念願（この際どの山でもイイワ）かなって山頂に立つことが出来、万歳！美味しいものを沢山食べて吞んで上高地を満喫。有難うございました。

小林紀子

4回目の参加です。毎回楽しかったのですが、今回は頂上まで初めて行けたのが感激でした。次回までに静岡の唄を勉強してまいります。また宜しくお願いいたします。

小林昭彦

今回白井隊長に連れてきてもらい初参加でした。上高地サマーテントすべて初体験でしたが、ひと言でいうと最高です。焼岳登頂とキャンプファイヤーでOBの皆さんが山の歌を唄うのを聞きながら炎を見たのが一番の思い出、グッと来ました。美味しいご飯と楽しい思い出を有難うございました。また是非参加させて下さい。 片山陽子

快適なテント、美味しい料理、楽しい仲間、素晴らしい景色で充実した3日間でした。また来ます。

林 美穂子

初サマ天、初上高地、初焼岳、好天に恵まれ最高でした。 大蔵

また登りに来ます。楽しく過ごせて幸せでした。

茂田淳子

焼岳に登れて、本当に嬉しかったです。最高に美しい景色でした。大変お世話になりました。とても幸せー！！来年も必ず来ます。

小関克也 佐幸

話に聞く徳本峠から穂高連山の眺めを初めて見る事が出来ました。上高地から出発したのでしんどさは余り無かったけれど、新島々の方からの登ってくるとさもありなんと納得しました。30年ぶりの小梨平。大正池も小さくなっているし、田代池も思い描いていた30年前と違うし時の移り変わりを感じましたが、山仲間の繋がりやの温かさは変わらず、良いなと思いました。

松尾朋子

13日、40年ぶりに奥又白池へ行ってきました。宇都宮さんのリードが良かったので行き着けました。サマテンで旧い顔に出会えるのを楽しみに来年も宜しくお願いいたします。テントキーパーの方々有難うございました。

平 邦彦

今年も撒収手伝いに来ました。13日夜は客人が30人以上ということで、夕食に私のレシピで作るカレーを食べてもらい、皆様から「美味しい！」と言われて自己満足しています。

板谷真人

30数年ぶりに高橋君に同行し撒収に来ました。14日、昼、板谷さんのカレーの残りでそうめんを頂き、明神池往復しました。白井君一行にも会えてよかった。焚き火を囲んで話ができ、山崎君、古賀君の小槍踊りも初見でき、サマテンの楽しさを味わえました。来年も何か手伝えればと思います。

S49 人文卒 杉本則夫

設営から撒収まで参加。今年特に気がついたこと

- ① イワナが少ない
- ② 水温（川も水道も）が高い
- ③ サルがますます図々しくなっている

前半は雨に悩まされ、後半はだいぶん良かった。リハビリの目標は達成できました。明日の新聞に「神戸の老人焼死」なんてことにならないよう頑張ります。

駒井 浩

13, 14, 15日参加、3年ぶりのサマ天は更なるパワーアップを見せ、レジェンドOB達の底力に脱帽です。この調子で小梨平を支配して下さい。残念だったのはイワナが少なく、夜が淋しかったです。昨日は嫁さんと焼岳に登り、中の湯下山、温泉後に大正池から歩いて帰ってきました。やはり北アルプスは最高です。板谷さんのアフリカカレー絶品でした。来年もまた来ます。

大木信介

サマテンは 2 回目の参加です。徳本峠に行ってきました。夜、よっぱらいのイビキでぐっすり眠れなかったです。来年もまた来ます。

ローマス・レズリ・鉄木郎

楽しい数日を過ごさせて頂きました。キーパーの皆様有難うございます。

葛西正美

ジジ（まだ若い気）パパ（口は一番元気）子供、孫と 5 人で来ました。今年も楽しい時間を持ってました。岳沢まで行き 1 泊で帰ります。

柴田武明

とても楽しい 3 日間でした。キーパーの皆様には大変お世話になりました。有難うございました。良い経験になりました。

茨木涼子

今回大木さんに同行して初めてキャンプを体験することが出来ました。キャンプファイヤーでは皆様と楽しいひと時を過ごせ有難うございました。大変お世話になりました。

茨木順子

私共夫婦にとって初めての本格的キャンプでした。こんな楽しいものだとは 64 歳にして知りました。こうしたイベントを続けることは大変なことと思いますが、是非引き継いで頂きたいと思います。素晴らしい体験を有難うございました。

茨木澄雄

喰いしごきの 3 日間でした。でも、上高地のご飯は美味しくて、文句を言いながらも楽しく食べました。太ってそう。2 年ぶりのサマテンでしたが私のことを覚えてくれていた方が沢山居て、とても嬉しかったです。来年社会人になりますが、また来ますよ！減免お願いいたします。なんちゃって。皆様に楽しんでもらえるように夏の唄を覚えてきます。上高地 ON ステージ 2012、お楽しみに。

上原麻理子

縦走終えて 1 日から撤収日まで参加しました。駒井さんと 2 人の淋しい日が 2 日ありましたが、それ以外は先輩が入れ替わり入天して頂き、楽しい賑やかな日が続きました。差し入れの酒が豊富で連日楽しい夜でした。最大 35 人の宿泊日は板谷さんの特製カレーが輝きました。来年も参加できるよう身体に気をつけて過ごします。

宇都宮昭義

8. 上高地小梨平サマーテント（報告No2 より）

昭和 36 年入部、松尾武久

信大富士山岳会員にとって、毎年開設される「上高地サマーテント」は、青春時代の良き思い出となっている。穂高と梓川をバックにした小梨平のサマーテントを訪れた人々は、現在まで何名となっているのだろう。このテントで芽生えた恋で、生涯の伴侶を得た幸せなOBも数々居る。山岳部に入部して、苦しい合宿の続くなかで、このサマーテントの生活は、一服の清涼剤であった。新人にとって、お客さんの世話をするうちに、自然とテントワークが身に付き、それ以降の合宿では、全く動きが違ってくるようになっていた。悪名高き業者との数々のトラブルも、毎年のようにあったが、それも梓川の清流と残雪の穂高の峰々、夜空の満天の星を見れば、取るに足らない小事であった。

OBとなって、仕事で全国各地に散らばっても、海外に仕事で赴任して、苦しいときにいつもいつもサマーテントの生活を懐かしく思い出して、頑張ってきたという人も多い。唐松の林の中での、見知らぬ人達との交流の数々、夜空を見上げてのキャンプファイヤー、大声で歌った山の歌、そして先輩達との山談義。そして差し入れのビールの美味さ。どれを取ってみても、帰らぬ青春の一ページである。

後輩諸君！大変だとは思いますが、これからもサマーテントを続けていって欲しいと切に思う。OB 諸兄！サマーテントを拠点に、六百山、霞沢谷、S 字ルンゼに揃って行きましょう。



懐かしの三角錐テントの前で、宿泊の方々と 昭和 37 年



昭和36年のサマーテント風景

葛西さん提供



これだけは今も昔も変わらないDNAか？

9. あとがき

サマーテントの歴史はいつから始まっているのかを知りたくて文理学部第一期生の木下哲雄大先輩に聞いてみた。

「サマーテントは松高時代から上高地でやっていたらしい。新制大学になったとき松高テントが白樺荘に置いてあった。それを貰い受けて、自分の2年生のとき、昭和25年の夏から開催したと思う。以降は同級生の西糸屋に保管を頼んだ。信州大学との名前が入っている八角垂のテントは、その後造られたものと思う」とのことでした。

昭和25年から平成23年まで、実に62年間の長きに亘り続いてきたことになります。その間、サマーテントは山岳会の現役の人数が多い時期は盛大に開設され、人数が少なくなった時期には風前の灯という危機もありました。この危機の時代に、毎年2～3日でも開催する努力を胸井浩君、宇都宮昭義君、古賀聡君たちが続けてきてくれて、その長い歴史を保持してくれたことを我々OBは忘れてはなりません。

学士山岳会会員の多くが、社会の一線から引退する時期を迎える頃になって、山登りの場でも、酒を飲む場でも、上高地のサマーテントとの話題が必ず出てくるようになりました。皆さんの心の中に深く刻まれているこのサマーテントを、新しい交流の場として復活させようと、2007年からOB中心で開設・運営して行くことになりました。

2011年の撤収の日で5年間を経過した訳ですが、その間事故や大きなトラブルもなく所期の目的の一応の達成ができたのではないのでしょうか。この間、「サマーテント雑感」として、ご来訪の皆様にご感想文を書いてもらっておりましたので、これを纏めて閲覧に供し、更なる発展の礎としてはどうかと考えました。多くの皆様が自然豊かな上高地での生活を楽しんで頂いたことが分かり、嬉しく思っております。

昔と違って天場の規制が厳しくて、焚き火を囲んで、夜を徹して語り合うような交流が出来なくなりました。しかし、これもサマーテントを未来に向けて存続させていくためには、甘受せざるを得ない環境の変化と受け止めて、新しい交流のあり方を作っていく必要があると考えております。

最後になりましたが、設営・撤収に駆けつけてくれたOB、キーパーをやってくれたOB、多大なご寄付を頂いたOBに感謝いたします。また、関係者の皆様には、あらためて厚くお礼申し上げます。

サマー愛好会の皆様！

これからも涼風の上高地小梨平でお会いできるのを楽しみにしております。

テントキーパー代表 松尾武久